

# A社における従業員エンゲージメントの現状把握

氏名 周藤 朱香

指導教員 鳥取部 真己

## 要旨

本研究の目的は、A社における若手社員のエンゲージメントに影響する要因を明らかにし、今後の組織施策の検討に資する知見を得ることである。A社は全国に拠点を有する専門商社であり、特に一部拠点で若手層の定着に課題が認識されている。そこで本研究では、同社従業員を対象にアンケート調査を実施し、エンゲージメントと関連要因の相関分析および重回帰分析を行った。

分析の結果、全体群において、エンゲージメントに対して「賃金・処遇」が最も強い正の有意な影響を示したものの、若手群では有意な影響を示さなかった。また、企業体質（イノベーション）は全体群では有意傾向の影響を示し、若手群では正の有意な影響を示した。一方、評価制度や教育機会は単独では有意な影響を示さなかったが、処遇や企業文化との組み合わせにより効果を発揮する可能性がある。

本研究の意義は、製造業と商社機能を併せ持つ企業において、若手社員のエンゲージメント向上に向けた具体的な改善方向性を探索的に提示した点にある。特に、変化を促進し受容する企業文化の醸成が、若手層の定着と組織活性化に有効であることが示唆された。